

事務事業名	プラネタリウム運営事業		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	政策	開始	1 終了
H29作成課等名	美術博物館	H29係等名	学芸係	H28担当課等名 美術博物館		
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり			
	施策	29	ふるさと意識の醸成			
目的	対象(誰・何を)	飯田下伊那の住民		対象指標	指標名及び単位	
	意図(どういう状態にするか)	ふるさとの自然・文化・星空・景観のすばらしさを学び、地域を大切にすることを育む			圏域住民数(人)	28年度数値
	向上させたい上位施策の成果指標	1 飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)			160827	
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	プラネタリウム観覧者数		20000	17476	20000
	定性目標			28年度実績	13533	備考(指標変更など)
事業概要	<p>プラネタリウム機器を良好に維持管理しながら子どもから大人、地区住民から観光客・行政視察等の幅広い層に対して、積極的な事業展開をはかる。また子どもたちなどに対する天文教育・情操教育を、よりニーズにあった形で実施する。</p> <p>1 一般番組購入 ・四季ごとに年間4本の番組を購入</p> <p>2 番組投影 ・一般投影(定時の投影) ・予約投影(申込みによる随時投影)</p> <p>3 ドームの多目的利用(イベントなど) ・プラネタリウムまつり、オリジナル番組新作発表会、プラネタリウムコンサート、ヒーリングプラネタリウム、各種事業での活用、視察対応などを実施する。 ・従来のチラシ配布等に加えて、マスコミ等を巻き込んだ広報活動を展開する。 ・プラネタリウム館の連携を図る。</p> <p>4 プラネタリウム機器の維持・更新</p>					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	<p>1 一般番組購入 家族向けの心温まる番組と教育的なアニメ番組</p> <p>2 番組投影 (1)一般投影 土・日・祝日・長期休みに5回、平日に2回投影 (2)予約投影 随時投影(10名以上、3ヶ月前から予約受付)</p> <p>3 ドームの多目的利用 プラネタリウムまつり、オリジナル番組新作発表会、特別投影、オリジナル番組特別上映の実施</p> <p>4 国内及び県内プラネタリウム館との連携、投影技術の研修等を実施</p> <p>5 機器のメンテナンス及び更新</p>			<p>1 一般番組購入数</p> <p>2 (1)一般投影回数 (2)予約投影回数</p> <p>3 ドームイベント回数</p> <p>4 研修会への参加回数</p>		<p>1 4本</p> <p>2 (1) 857回 (2) 95回</p> <p>3 23回</p> <p>4 6回</p>
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		11,253	8,566	8,536	0	(国)社会資本整備総合交付金(市街地整備)(4.5/10) (そ)美術博物館観覧料
国庫支出金		801		1,750		
県支出金						
起債						
その他		1,210	1,450	1,134		
一般財源		9,242	7,116	5,652		
人件費計(千円)②		0	0	0	0	
正規職員所要時間						
臨時職員所要時間						
総事業費①+②		11,253	8,566	8,536	0	
事業内容・目標達成状況の振り返り		<p>人気アニメーション番組を購入しなかったこと、また、通常投影の合間の公開(無料)をほとんど実施しなかったことから、観覧者数は大幅に減少した。一方、新たな試みとして天文や星座等に関する解説やアロマプラネタリウムなどの特別投影をほぼ月に1回実施し、好評を得た。</p>				
改革改善の考え方	①問題点	<p>プラネタリウム機器の更新後、すでに6年が経過し、コンピュータをはじめ機器の劣化や故障が目立つようになってきた。また映像分野の進展により、新しい規格の番組が投影できないという事態も生じてきている。</p>				
	②改革提案	<p>計画的に機器を更新する。 広報の幅を広げながら、子ども～大人を対象に多様な活動をしていく。</p>				